



お告げのマリア修道会

発行： お告げの
マリア修道会
2020年11月
Tel095-846-8300

十 わたしは主のはしためです。・・・

死者の月を迎えています。お元氣でお過ごし
でしょうか。

亡くなられた方々を思い起こしながらお祈りしていることと思います。本部修道院でも諸聖人の祭日・死者の日には、赤城の墓地やコウランバの墓地（十字修道院墓地）で故人を思いお祈りを捧げました。

会の動き

・総会に向けて

10月18日行われた総会準備委員会で、議題案作りのグループが作成した議案に対して意見を述べ合い、持ち帰って、意見を参考に各グループで再検討し11月6日までに提出。

11月23日に行われる総会準備委会で再度議案を検討する予定。

・院長会

今年度に入り、コロナ禍で、院長会や研修会は中止になっていますが、11月の定例院長会を、地区ごとの院長会及びズームでの全体会を組み合わせる行うことになりました。

11月21日、四地区、長崎地区（本部）・北松地区（佐世保祈りの家）・上五島地区（鯛の浦修道院）・下五島地区（福江修道院）でテーマをもとに院長会を行い、午後ズームでの報告の予定です。初めての試みですが、今年度の初顔合わせ、皆さんの笑顔に出会えるのを楽しみに。

・本部での初ミサ

11月19日、長崎大司教区で11日に叙階された八幡町教会出身の稲田新司祭においていた

だいて初ミサが本部大聖堂で行われました。萩原神父様との共同司式で、八幡町教会は、以前萩原神父様も派遣されていた小教区であり、喜びも大きかったようです。

道端のつわぶきの花は

秋の深まりを感じ
やせつれませ。



支部修道院紹介

* 福江修道院（五島市松山町）

福江市松山町に開設されていた聖マリア診療所が、昭和30年、聖マリア病院として開設された時、奥浦修道院より独立し18名の共同体としてスタート。病院勤務の姉妹がほとんどだったが、退院後の高齢者の引き取りてがないことの打開策として昭和45年特別養護老人ホーム「聖マリアの園」が開設された。現在37名の共同体で、病院・老人ホーム勤務、修道院内での奉仕・お祈り組の高齢姉妹たちの共同体で、本会で一番姉妹たちが多い修道院である。

次回は聖家族修道院です。

まじくる会員帰天、お祈りください

カタリナ	竹口	キエ	98歳	三井楽教会
ヨゼフ	中村	松雄	90歳	三井楽教会
ペトロ	古木	周次郎	95歳	青砂浦教会
ペトロ	小瀬	良富義	64歳	青砂浦教会
マリア	久志	正子	82歳	仲知教会
ヨゼフ	村田	廣美	86歳	神の島教会

ひまわり

剪定を逃れた百日紅の見事な紅葉と共に、どうだんツツジの赤褐色、山茶花のピンクや紅色の開花を目にして、自然の不思議さに癒されます。花壇も、パンジーや葉牡丹とともに球根も埋められ、もう春支度をはじめていきます。コロナの第三波の報道に気が重くなりますが、時を待つ球根に思いを重ね、喜びの時を待ちたいと思います。